



新しい命が もう一つのいのちを救う
認定NPO法人
兵庫さい帯血バンクだより

第28号
2016
9



ご挨拶

認定NPO法人 兵庫さい帯血バンク

理事長 後藤 武

平成22年に理事長に就任して以来、6年が経過しましたが、先ごろの理事会・総会で再任されました。これからの2年間、よろしくお願いいたします。

さて、兵庫さい帯血バンクは、平成11年、阪神・淡路大震災の復興事業の一つとして、採取医療機関のご協力、搬送ボランティア活動、各種団体・個人からの会費・寄附金、無報酬の役員活動などに支えられて、公的バンクとしての事業を開始しました。翌12年にはNPO法人化され、平成26年の新法施行後には、技術や品質の高さが評価され、全国で6施設にまでに減少した臍帯血供給事業者の一つとして、国からの認可を受けました。

この間、バンク事業は必ずしも順調であったわけではなく、特に3年前には、不幸にも臍帯血保存バッグの破損事故のため、臍帯血を出庫できなくなりましたが、その際も採取、搬送、検査、保存は途切れることなく続けられた結果、予想以上に早く立ち直ることができました。現在までに1500本以上の臍帯血を移植用に提供し、現在、移植用として800本以上の臍帯血が保存されています。

今後とも、各方面からのご支援、ご協力のもと、事業を継続して参りたいと考えておりますので、何卒よろしくお願いいたします。



ライオンズクラブ国際協会 335-A 地区



西宮ホワイトライオンズクラブ



輝きグループ



大森スマイルグループ



県立西宮病院ボランティア

移植病院手記



国立病院機構熊本医療センター

血液内科部長 日高 道弘

本年4月に2つの震度7の地震に襲われ、熊本城が大きな被害を受けたことをご存知の方も多
いと思います。熊本医療センターはまさにその熊本城の敷地内にあります。各方面からたくさ
んの御心配や励ましのお言葉をいただいたことを、まずはこの場をお借りして心からお礼を申し上
げたいと思います。

当センターの初めての同種移植は平成3年に血縁者間で行われた骨髄移植でした。以来、熊本
県の移植センターとして機能し、この10年は年間40例前後の同種移植を行い、平成28年6月末の
時点で累積680例の同種移植を行っていますので、本年中には700例に達する見込みです。

臍帯血移植に関しては平成10年に最初の移植が行われ、平成28年6月末までで141例を施行し
ています。特にここ数年の伸びは著しく、平成25年には18例、平成26年および27年には23例ずつ
であり、現在は当院で行う同種移植のうちの4割程度が臍帯血移植になっています。これには理
由があります。

臍帯血移植には多くのメリットがあります。ドナーとしてHLA 2座不一致まで選択できる、
移植後の慢性GVHDの頻度が比較的少なく重症度も軽い傾向である、タイミングを逃さず移植が
可能である、などなどです。反面、生着に時間がかかり合併症も多いのではないかと考えていた
ことがあり、以前は臍帯血移植といえば奥の手的な移植の印象を持っていました。そんな中、平
成25年に東京医科学研究所附属病院から河北敏郎先生が戻ってきました。彼は、臍帯血移植の合
併症は、細かくマネジメントすることで、その多くが克服可能であることを示してくれ、臍帯血
移植に対する我々の抱いていた先入観をとりはらってくれました。今や我々は、臍帯血移植はド
ナーに負担をかけない、ほとんどの方に、タイミングよく移植が行える、長期合併症の少ない理
想的な移植かもしれないと思っています。これからも当院は必要な方には、積極的に臍帯血移植
を行って参りたいと思います。

採取施設紹介

第20回

南川クリニック

院長 南川 義夫



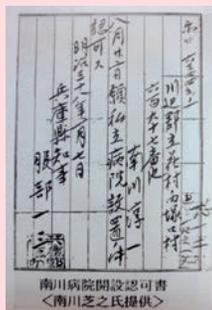
当院は曾祖父の代の明治初期に、当時の兵庫県川邊郡立花村ノ内塚口村(現尼崎市)に産婦人科醫院として誕生しました。明治38年に、県知事より阪神間の私立病院第一号・南川病院が設立認可され、以来1月7日を設立記念日としています。その後祖父の代に阪神尼崎駅前に進出。戦災により全焼・復興等、紆余曲折を経て、父が昭和60年に塚口の木造建築物を鉄筋に建替え。内科・小児科を分離し、11床の有床診療所「南川クリニック」としてコンパクトに造り替え、現在は身の丈に合った診療を心掛けています。

常勤医は院長1人で、他に非常勤パート医師5人が外来・当直を手伝ってくれています。又8人の助産師が助産の他各種学級・外来で活躍しています。看護師等は7人。他に事務・厨房・清掃です。

さて公的さい帯血バンクは「大病院の仕事」との先入観があったのですが、中学・高校の同期の敏森氏が事務局に入職し、話をするうち大変身近なものに感じられ、参加を決断しました。そして、平成27年10月27日からさい帯血採取施設としてスタートしました。平成27年の分娩数は297件、帝王切開は28件でした。平成28年1月から6月迄の分娩数は159件、さい帯血採取数は95件、搬送数は70件、そのうち保存数は26件です。保存率が十分とは言えず、採取手技等はまだまだ改善の余地があります。

甲斐先生の巡回指導、兵庫医大での研修会、兵庫県赤十字血液センターでの講演会等は全て出席しました。加えて開業医ではさい帯血採取の先駆者と云うべきオカ・レディースクリニックの岡先生が大学の同期で、細かいノウハウを伝授して頂き大変助かりました。お陰様で比較的短期間で採取業務に溶け込む事が出来ました。

未だ加入後1年未満の新入生です。今後共皆様方の御指導・御支援を宜しくお願い致します。



南川病院開設認可書
〈南川芝之氏提供〉





さい帯血移植を体験して

畑中 千尋

私が急性骨髄性白血病になったのは、今から11年前のことです。当時、私は妊娠していて、妊婦健診で血液に異常が見つかりました。

そこで、血液の病気なら兵庫医大が良いと紹介され、よく分からないまま急かされ入院しました。そして、骨髄検査ですぐに病名が確定し、治療するには妊娠継続を諦めなければなりません。まず、出産というかたちの墮胎をし、とても辛く悲しい状況から私の闘病生活は始まりました。治療は、抗がん剤での化学療法です。白血病の治療前に大変な思いをしたおかげで、病気のことで全く落ち込むこともなく前向きに闘うことが出来ました。抗がん剤の凄まじい副作用に耐え、完全寛解で退院して経過観察となりました。

しかし、退院から一年も経たずに再発してしまいました。再び入院し、治療は骨髄移植か臍帯血移植のどちらかでした。私は迷わず臍帯血移植を選びました。「適合する臍帯血が見つかりやすい」「移植後の免疫反応であるGVHDが比較的軽い」「ドナーに対する負担がない」何より再発リスクが高くないというのが決め手でした。そして、私のデータが今後の臍帯血移植に少しでもお役に立てるならと思い、そのころ国内ではまだ数例しか行われていなかった複数臍帯血移植をしました。移植といっても、少量の臍帯血を点滴の管から注入するだけという簡単なものです。痛みも何も無くあっという間に終了しました。その後は、臍帯血が無事生着してくれるのを待ち、GVHDを乗り越え、移植から3ヶ月で退院しました。

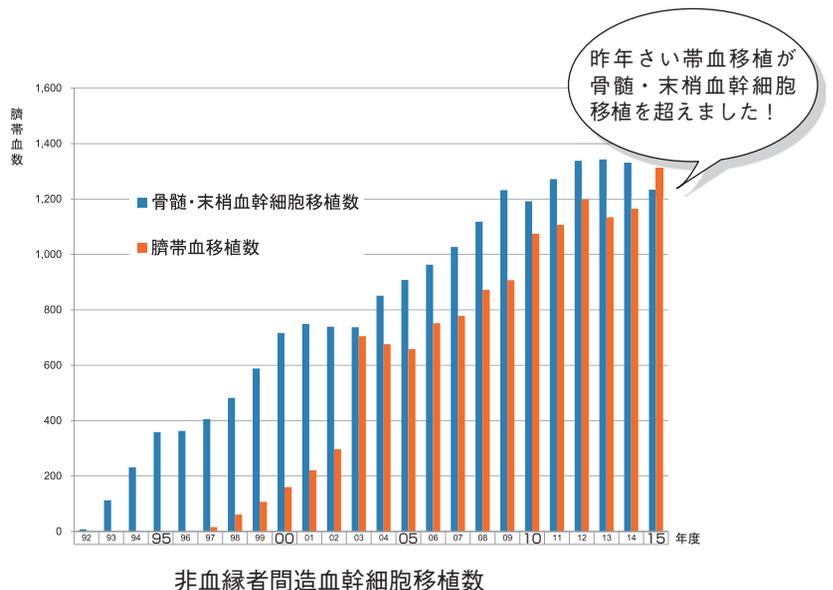
退院後の経過は順調で、今現在の経過観察は半年に一度です。移植から10年が経ち、もう完治したと言っても良いと思います。周りの人たちは、元気な私を見て白血病だったなんて想像もできないでしょうね。

お腹に赤ちゃんがいたから病気を早期に発見でき、どなたかの赤ちゃんからいただいた臍帯血で元気になりました。今、健康でいられるのは赤ちゃんの助けがあったからです。臍帯血を提供してくださった赤ちゃんのお母さん、それに臍帯血バンクに関わる人たちには大変感謝しています。

白血病の治療は、誰かの善意が無くては出来ません。

もっとたくさんの人に臍帯血バンクのことを知って理解してもらい、臍帯血の提供が増え、臍帯血移植で元気になる患者さんがたくさん増えることを願っています。

そして、私が元気に生きることが、白血病など血液疾患に苦しむ患者さんにとって少しでも希望になればいいなと思っています。



さい帯血採取医療機関紹介

さい帯血の提供は、採取医療機関で出産をされる方をお願いをしています。

平成28年8月末 現在

採取医療機関	住所
1. 一般財団法人 神戸市地域医療振興財団 西神戸医療センター	神戸市西区糀台5丁目7-1
2. オカ・レディース・クリニック	神戸市北区大原3丁目8番1号
3. 尼崎医療生協病院	尼崎市南武庫之荘12丁目16番1号
4. 医療法人社団 吉徳会 あさぎり病院	明石市朝霧台1120番地2
5. 医療法人社団 純心会 パルモア病院	神戸市中央区北長狭通4丁目7番20号
6. 兵庫県立西宮病院	西宮市六湛寺町13-9
7. マムクリニック	神戸市北区有野町唐櫃3389
8. 兵庫医科大学病院	西宮市武庫川町1番1号
9. 医療法人社団 高橋産婦人科クリニック	西宮市和上町6-22
10. 医療法人社団 恵友会 久保みずきレディースクリニック	神戸市西区美賀多台3丁目13-8
11. 医療法人社団 直太会 母と子の上田病院	神戸市中央区国香通1丁目1-4
12. 松岡産婦人科クリニック	神戸市北区緑町1丁目6-18
13. 医療法人社団 大森産婦人科医院	高砂市伊保港町2-5-17
14. 独立行政法人 労働者健康安全機構 関西労災病院	尼崎市稲葉荘3丁目1番16号
15. 医療法人社団 こうのとりの会 西川産婦人科	姫路市花田町一本松165-1
16. 医療法人 三友会 なでしこレディースホスピタル	神戸市西区井吹台東町2丁目13
17. 医療法人社団 南川クリニック	尼崎市塚口本町2丁目20-1
18. 社会福祉法人恩賜財団 済生会兵庫県病院	神戸市北区藤原台中町5丁目1-1



巡回勉強会

平成27年11月～28年1月



平成27年10月から平成28年1月にかけてさい帯血採取施設を訪問し、さい帯血バンクの現況とドナーリクルート及び採取量の増加に向けて勉強会を行いました。

11/24



マムクリニック

12/4



あさぎり病院

12/11



西神戸医療センター

12/22



関西労災病院

1/15



パルモア病院

1/21



高橋産婦人科クリニック

1/26



なでしこレディースホスピタル



さい帯血バンクの活動報告

◆ 第11回 兵庫さい帯血バンク・チャリティゴルフ大会 2015.11.6



平成27年11月6日(金)三木よかわカントリークラブにて好天のもと70名の方の参加によるコンペが開催されました。ご参加ありがとうございました。



◆ さい帯血採取技術研修会 2015.11.7



(日本赤十字社主催：兵庫区大にて 19名参加)

◆ 神戸新聞マタニティコンサート 2015.11.7



(会場にて普及啓発)



移植体験者
畑中千尋様



ママクリニック
上田喜太郎先生

◆ 採取施設従事者・ボランティア合同研修会 2016.2.18

(兵庫県赤十字血液センター7F大会議室にて 71名参加)



理事長あいさつ



西宮ホワイトライオンズ
竹内清子会長



大森スマイルグループ
長谷川番代子様



会場風景



西神戸医療センター：川北かおり先生

ボランティア支援団体紹介

○西宮ホワイトライオンズ

今期15周年を迎える私たちが発足当初から取り組んできたのが、さい帯血啓発活動でした。“兵庫さい帯血バンク支援チャリティバザー・ゴルフ”さらに“新しくママになる方への周知活動として「こころちゃん」袋作成等、毎年継続的に行っています。これからも西宮で初めての女性クラブという特殊性を活かし、女性目線での活動に邁進してまいります。

○ライオンズクラブ国際協会335-A地区

ライオンズクラブは、世界最大の奉仕団体です。「We Serve」をモットーに、青少年の健全育成、環境改善、そして社会福祉などの事業を対象に奉仕活動をしています。社会福祉で重要活動の一つとしてさい帯血バンクを支える事業があります。今後もさい帯血の重要性を全クラブ員に周知啓蒙し

て、さい帯血バンクに対してのさらなる協力をいたします。

○国際ロータリークラブ

毎年さい帯血チャリティゴルフの企画をしていますが、今年度は10月14日(金)にギネス認定の最高齢バンド「ゴールデン・シニア・トリオ」によるジャズコンサートを企画しています。過去には有田副理事長の協力を得て、女子高生に「さい帯血の絵本」の贈呈と講演や、ロータリークラブで卓話を行っています。また、ロータリークラブの地区大会においては「さい帯血」に関する広報活動をしています。

○国際ソロプチミスト神戸

国際ソロプチミストの活動は「女性と女兒の生活の質の向上」に向けていろいろな角度から応援をしています。1年に

兵庫さい帯血バンク理事会・総会

2016
6/21火

兵庫医科大学10号館第5会議室にて開催しました。

まず、理事会にて

- 第1号議案 第16期 事業報告・活動決算について
- 第2号議案 第17期 事業計画・活動予算について
- 第3号議案 役員の選任(案)について
- 第4号議案 委員会規程改正について

上記議案が討議され、異議なく原案どおり承認されました。

次の総会には上記承認された第1号議案、第2号議案、第3号議案が上程され全会一致で承認されました。



また、新理事会にて ①理事長の選任について
②委員会の委員委嘱について審議され、承認可決されました。

結果、後藤理事長が再任され、新理事として、片山 暁様、三上 喜美男様、宮脇 テル子様、茂木 久子様が選出されました。

さい帯血供給事業の実績と計画 (件)

	第16期実績	第17期計画
採取数	2,037	2,100
搬送数	1,161	1,200
凍結数	405	420
仮保存数	383	400
公開数	378	390
移植数	82	90

会計報告 (千円)

	第16期実績	第17期予算
収入		
会費	508	510
補助金	122,788	121,673
医療保険	35,952	36,720
受託金	1,268	1,268
寄附金	1,917	2,000
その他	474	73
計	162,907	162,244
支出		
事業費	148,540	149,040
管理費	9,572	11,640
計	158,112	160,680
収支差額	4,795	1,564

各委員会

運営委員会

バンク事業の諸事業を円滑に推進するため、毎月第3火曜日に開催しています。



さい帯血採取委員会

さい帯血採取施設が行うさい帯血採取に関する行為が衛生的配慮のもとに行われることを目的として、新規採取施設の候補があるごとに審査を行っています。

広報委員会

バンクだよりの発行や普及啓発活動を進めるため、随時委員会を開催しています。



倫理委員会

バンクの事業が倫理的配慮のもとに行われることを目的に開催しています。



臨床評価委員会

移植施設の主治医から登録された患者を受け付け、バンクからのさい帯血の提供の可否を決定しています。



1度チャリティバザーを開催し、その収益金を各方面の奉仕に当てています。兵庫さい帯血バンクへの支援金もその中から拠出されています。また、過去に行われたバザーの時に兵庫さい帯血バンクへの協力を呼びかけ募金箱を置き、多くの方々から浄財を頂戴したこともありました。

○兵庫県立西宮病院ボランティアグループ

今年50周年を迎え、総勢42名で活動をしています。院内では、入院案内、花壇の手入れ、移動図書のほか、昨年からは兵庫さい帯血バンクへ臍帯血を届ける活動を開始しました。“ひとつの命を救う”大切な臍帯血を安全に届けるという活動は、責任感と共に医療の一役を担う意義とやりがいを実感しています。初心を忘れず「愛と笑顔と優しい言葉」を心に活動していきたいと思っています。

○大森スマイルグループ

大森産婦人科医院(高砂市)で出産された母親の善意により提供された臍帯血を、山陽・阪神電車で兵庫さい帯血バンクに届けています。メンバー8名です。当初搬送箱のロゴや絵をさりげなく隠して搬送していました。しかし、研修会に参加して、臍帯血が骨髄並みに有用で臍帯血移植後の健康回復者や臍帯血採取施設の先生方のお話を伺い、今では胸を張った搬送を心掛けています。

○耀きグループ

妊婦さんに臍帯血をご理解いただくための説明を行っています。妊婦の皆さんは、臍帯血の話を熱心に聞いてくださいます。血液の難病に苦しんでおられる患者さんが、一人でも多く元気になられることを願い、活動を続けていきたいと思っています。

